Kashimura

保管用
保証書付

BL-62
Bluetooth イヤホンマイク
ノイズキャンセラー カナル式

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意 ― 1
警告 ― 2
注意 ― 3
各部の名称と働き ― 4
使用上のご注意 ― 5
使用方法（はじめて使用する場合）― 6
主な Bluetooth 搭載の機種のペアリング方法 ― 7~10
使用方法 ― 11~13
故障かな？と思ったら ― 14
保証書 ― 15

※お買い上げありがとうございました。
※ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくご使用ください。
※お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

※ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
※また注意事項は次のように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

表示の説明

⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

記号の説明

❗	この記号は必ず実行していただく内容を示しています。
⊘	この記号はおこなってはいけない内容を示しています。

⚠危険

⊘	＊耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため音量を上げすぎないようにご注意ください。
❗	＊走行中での携帯・自動車電話機の使用は法律で禁止されていますので万が一電話をかける場合は安全な場所に停車してから携帯電話機の操作をおこなってください。
⊘	＊本製品のご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。
⊘	＊航空機の運行に支障をきたすおそれがありますので、本製品は機内で使用しないでください。

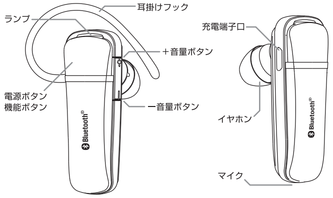
⚠ 警告

❗	＊本製品を正常にご使用中、異臭・発煙・変形などの異常が起きた場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。 （感電・火災・事故の原因となります。）
❗	＊熱器具の近くや直射日光の当たる所で本製品を充電したり、放置しないでください。 （火災・事故の原因となります。）
❗	＊本製品を充電する際は必ず付属されている DC 充電器および、USB ケーブルをご使用ください。 （火災・故障の原因となります。）
❗	＊付属品の DC 充電器と USB ケーブルは本製品専用となります。本製品以外の充電には使用しないでください。DC 充電器は 12V/24V、USB ケーブルは USB 端子 5V 以外では使用しないでください。 （事故・故障の原因となります。）
❗	＊本製品を充電しながら耳に付けて使用しないでください。使用する際は必ず USB ケーブルから本製品を外してください。 （事故やけがの原因となります。）
❗	＊充電終了後は必ず USB ケーブルから本製品を外し、USB ケーブルを USB 端子から抜いてください。 （火災・事故の原因となります。）
⊘	＊USB ケーブルのコードや端子が傷んだり、USB 端子の差し込みがゆるいときは使用しないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
⊘	＊USB ケーブルのコードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、はさみ込んだり、加工したり、本体に巻きつけたりしないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
⊘	＊子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所では使用しないでください。 （事故やけがをするおそれがあります。）
⊘	＊水につけたり、ぬらしたりしないでください。また湿気の多い所やぬれた手で使用しないでください。 （感電・ショート・発火の原因となります。）
⊘	＊絶対に分解・修理・改造をしないでください。 （発火や異常動作によるけがの原因となります。）

⚠ 注意

❗	＊窓を閉めきった自動車の中やダッシュボードの上などの直射日光があたる場所やエアコンの吹出口などの異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。 （事故・故障の原因となります。）
❗	＊USB 端子から USB ケーブルを抜く時は、必ず USB 端子部を持って抜いてください。 （感電やショートして発火することがあります。）
❗	＊落としたり、ぶつけたりして破損した場合は使用しないでください。 （感電・発火の原因となります。）
❗	＊充電完了後に長時間 USB ケーブルを USB 端子に接続したままにしないでください。また充電終了後は必ず USB 端子から USB ケーブルを抜いてください。 （事故・故障の原因となります。）
⊘	＊自動車内で使用した場合、車種により車載電子機器に影響を与える場合があります。安全を損なうおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。 （事故・故障の原因となります。）
⊘	＊調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたる場所には置かないでください。 （事故・故障の原因となります。）
⊘	＊イヤホンパッドをしっかり取り付けてください。イヤホンパッドなしで装着したり、イヤホンパッドがはずれて耳に残ると病気の原因となることがあります。
❗	＊装着中に気分が悪くなるなど異常を感じたときは直ちに使用を中止し医師または弊社の相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
⊘	＊イヤホンマイクは音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多い所では音量を上げてしまいがちですが、イヤホンマイク使用中は呼びかけられても返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
⊘	＊子供の手の届く所には保管しないでください。 （事故・けがの原因となります。）
⊘	＊湿気の多い所には保管しないでください。 （絶縁劣化により感電することがあります。）

各部の名称と働き

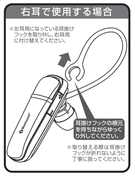


【製品仕様】

※動作時間は携帯電話機や使用環境によって異なります。

無線方式	Bluetooth Ver.4.2 (Class2 準拠)
送信周波数範囲	2.4GHz~2.4835GHz
対応プロファイル	HSP/HFP/A2DP/AVRCP
マルチポイント	2 台
SCMS-T	対応
無線距離	約 10 m
電源供給	リチウムポリマー電池
充電時間	約 2 時間
連続使用時間	最大約 8 時間
連続待受時間	最大約 180 時間
外観寸法	W19×H54×D32mm
動作・保証環境	温度 0~45℃（結露しないこと）
付属品	DC 充電器 /USB ケーブル / 耳掛けフック イヤホンパッド（シリコン）

右耳で使用する場合



※左耳用になっている耳掛けフックを取り外し、右耳用に付け替えてください。
※取り替える際は耳掛けフックが折れないように丁寧に扱ってください。

※ご案内する適合は携帯電話機での通話についての確認結果です。連続使用時間、マルチポイント機能などの動作を保証するものではありません。また、機器の仕様変更(ソフトウェアの更新など)により適合情報が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

使用上のご注意

良好な通信のために

＊接続機器とは見通し距離で約10m以内で通信してください。建物の構造や障害物によっては通信距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと通信できないことがあります。
＊電気製品(AV機器･OA機器･電子レンジなど)から3m以上離して通信してください。テレビやラジオなどの場合は、受信障害になる場合があります。
＊無線機や放送局の近くなどで正常に通信ができない場合は、通信場所を変更してください。
＊接続機器からの接続要求に応答するために、低電力ではありますが常に電力を消費しますので使用しないときは電源OFFにすることをお勧めします。

内蔵電池について

＊3時間以上の長時間の充電はしないでください。
＊電池は寿命があり消耗品ですので、保証対象外となります。
＊十分に充電した電池で使用時間が著しく短くなってきたり、ご利用いただけない場合は電池の寿命となります。(電池の交換はできません。)
＊リチウムポリマー電池の特性上、高温での保管はお勧めできません。

使用する電波について

2.4 FH 1
使用電波帯：2.4GHz
変調方式：FF-SS
与干渉距離：10m

＊本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で無線局の免許は必要ありませんが以下の場合や製品の近くでは使用しないでください。

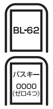
※病院内･電車内･航空機内･ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
※電子レンジ･ペースメーカー等の産業･科学･医療用機器など
※自動ドア･火災報知器など
※工場の製造ライン等で使用されている稼働体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
※特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
※IEEE802.11b/g無線LAN機器

上記の機器などはBluetoothと同じ電波の周波数帯を使用しています。上記の近くで本製品を使用すると電波の干渉が発生するおそれがあります。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業･科学･医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている稼働体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運営されています。

使用方法（初めて使用する場合）

【ペアリング（初期設定）をします。】

7~10ページに主なBluetooth搭載機種のペアリング方法を記載しておりますので下記の内容と合わせてご確認ください。



❶本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。
❷ペアリング(初期設定)可能な状態にするために電源ボタンを約5~8秒間押し続け本体のランプを青色点滅後の**赤･青交互の点滅**の状態にしてください。
❸使用する携帯電話機のBluetooth機能設定にてペアリング可能な機器を検索してください。検索方法は携帯電話機により異なりますので詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご参照ください。
❹検索画面に「**BL-62**」と表示されるので表示された番号を選択してください。
※パスキー入力が不要な携帯電話機は、接続完了となります。
❺選択した後は携帯電話機の指示に従い操作をしてください。認証のために携帯電話機によりパスキーの入力が必要な場合があります。パスキーを要求された場合はゼロ4つ「0000」を入力してください。接続する種類を要求された場合は「ハンズフリー」を選択してください。
「ヘッドセット」を選択した場合は機能が正常に動作しない場合があります。
＊パスキーという表記名は携帯電話機の機種により異なりますので詳しくは携帯電話機の取扱説明書を参照してください。
❻本製品の電源ランプが**青色点滅**になったらペアリング設定は終了です。
＊ペアリング設定中に間違えてしまったり、ペアリングを失敗してしまった場合はもう一度はじめからやり直してください。

【2台目のペアリング方法について】

❶1台目の携帯電話との接続が終了したら携帯電話と本製品の電源をOFFにします。
❷2台目の携帯電話と本製品をペアリング(初期設定)し接続します。
❸2台目の携帯電話と本製品はそのままで1台目の携帯電話の電源をONにします。
❹1台目の携帯電話のBluetooth項目から本製品との接続作業をして終了です。
※携帯電話によっては2台目と接続できない場合があります。その場合は、本製品の電源を入れ直して、はじめから操作をやり直してください。

【充電について】(充電中は絶対に耳に付けて使用しないでください。)

※付属品のDC充電器とUSBケーブルを使って充電します。
※本体のランプが赤色に光ると充電が開始されます。
※本体のランプが青色になると充電終了となります。
(充電時間の目安は電池切れの状態で約2時間です。)

【電池切れについて】

＊電池が無くなると赤色ランプが点滅しイヤホンから電子音が鳴ります。
電池切れになった場合は付属品のDC充電器とUSBケーブルを使用し充電してください。

主な Bluetooth 搭載機種のペアリング方法

※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤･青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

docomo

機種	アップル iPhone 7/7Plus	NEC N-03E	パナソニック P-06D
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 一般 ↓ Bluetooth ↓ オンにする ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了
機種	パナソニック P-05D	富士通 F-04E	富士通 F-10D
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 本体設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 本体設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了

携帯電話機の機種別ペアリング方法

バーコードを携帯電話機のバーコードリーダーで読み取り、各機種のペアリング方法をご確認いただけます。バーコードリーダー機能がついていない携帯電話機の接続方法については、携帯電話機の説明書をご確認ください。パソコンからご確認頂く場合は下のURLからご覧頂けます。
http://www.kashimura.com/goods/keitai/bluetooth/bl.html

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ (http://www.kashimura.com/) をご覧ください。

※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤･青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

docomo

機種	ソニー XperiaZ(SO-02E)	ソニー XperiaSX(SO-05D)	サムスン GALAXY S4(SC-04E)
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ 機器の検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ 機器の検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了
機種	サムスン GALAXY S3(SC-06D)	LG L-04E	LG L-02D
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ 検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ ONにする ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ Bluetooth機器のスキャン ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ (http://www.kashimura.com/) をご覧ください。

※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤･青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

au

機種	アップル iPhone 7/7Plus	サムスン GALAXY S Ⅲ progre	ソニー SOL21
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 一般 ↓ Bluetooth ↓ オンにする ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ スキャン ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth ↓ 機器の検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了
機種	京セラ KYL21	シャープ SHL21	パンテック PTL21
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ モバイルネットワーク ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了

下記に載っていない携帯電話機の場合は携帯電話機の取扱説明書又は弊社ホームページ (http://www.kashimura.com/) をご覧ください。

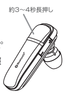
※ペアリングする時は、本製品のランプを**赤･青交互の点滅**にした状態でおこなってください。
※OSのバージョンによっては、ペアリング手順が異なる場合があります。

SoftBank

機種	アップル iPhone 7/7Plus	シャープ 203SH	シャープ 200SH
ペアリング設定方法	アプリケーション画面 ↓ 設定 ↓ 一般 ↓ Bluetooth ↓ オンにする ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	アプリ ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ その他の設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了
機種	パナソニック 101P	NEC 101N	富士通 201F
ペアリング設定方法	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	メニュー ↓ 設定 ↓ 無線とネットワーク ↓ Bluetooth設定 ↓ デバイスのスキャン ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了	アプリ ↓ 設定 ↓ Bluetooth ↓ デバイスの検索 ↓ 「**BL-62**」を選択 ↓ 接続完了

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【電源をONにする】

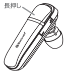


電源ボタンを青色ランプがつくまで約3~4秒押し続け、ランプがついたら離してください。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
ペアリングされた情報は各機器とも残りますので、本製品をONにすれば数秒後に携帯電話機が認識しそのまま使える状態になります。
＊携帯電話機が認識しない場合は携帯電話機で接続操作をしてください。
＊本製品と携帯電話機の接続状況については携帯電話機で確認してください。接続状況の確認方法については携帯電話機の取扱説明書を参照してください。

【電源をOFFにする】

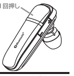
電源ボタンを赤色ランプがつくまで約3~4秒押し続け、ランプがついたら離してください。(イヤホンからは電子音が鳴ります。)
＊電源がOFFの状態の時は電源ランプは消えたままです。

【電話をかける】



本製品からの発信はできませんので、携帯電話機から発信してください。
相手が電話に出たら機能ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。
＊携帯電話機の機種により携帯電話機から発信後に自動でイヤホンに切り替わる機種があります。
＊機能ボタンを長押ししても切り替わらない機種の場合は携帯電話機で切り替えてください。

【電話をうける】

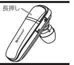


イヤホンから着信音または電子音がしたら機能ボタンを1回押します。
携帯電話機の機種、設定によっては上記と異なる場合があります。

【電話をきる】

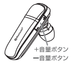
機能ボタンを1回押すと通話が終了します。
(イヤホンからは電子音が鳴ります。)

【電話を拒否する】



イヤホンから着信音がしたら機能ボタンを電子音が鳴るまで長押ししてください。
※機能　ボタンを長く押しすぎた場合、Siriが起動する場合がございます。
その場合は、再度、電子音が鳴るまで長押ししてSiriを終了してください。

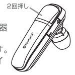
【音量を調節する】



音量を大きくする場合は+音量ボタンを、音量を小さくする場合はー音量ボタンをそれぞれ1回ずつ押して調節してください。
＊音量がそれぞれ最大になった時にはイヤホンから電子音が鳴ります。
音量が最小になった時は電子音がなりません。

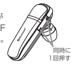
使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

【リダイヤルする】



機能ボタンを2回連続で押してください。
＊マルチポイント機能使用時はどちらか1台のみの対応となり、接続機器の組み合わせやペアリング順によって動作が異なります。
＊携帯電話機によっては連続してリダイヤルができない場合があります。リダイヤル機能が働かなくなった場合は時間をおいてから再度リダイヤルをしてください。

【ミュート機能】

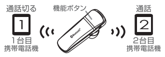


通話中に音量大ボタンと音量小ボタンを同時に1回押すとミュート機能がONになり通話相手に自分の声が伝わらなくなります。ミュート機能をOFFにする場合は、音量大ボタンと音量小ボタンを同時に1回押してください。
＊ミュート機能が動作中はイヤホンより電子音が10秒間隔で鳴ります。
＊携帯電話機の機種によりミュート機能が使えない場合があります。

【マルチポイント※携帯電話の2台使用】

通話中にもう1台の携帯電話機に電話がかかってきた場合にはイヤホンマイクから電子音が鳴り電話がかかってきたことがわかります。下図のように機能ボタンを操作することにより、1台目の電話の通話を切る、通話保留にすることができます。

1 台目通話中は 1 台目の通話を切り、2台目と通話する。

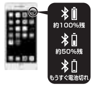


【充電しながら待ち受けをする場合について】

(充電中は絶対に耳に付けて使用しないでください。)

充電しながら、本製品の電源がONの状態で待ち受けすることができます。
※携帯電話機によっては、接続が切れる場合がございます。

【iPhoneで本製品のバッテリー残量を表示する】



本製品とiPhoneをペアリングするとiPhoneの液晶画面に本製品のバッテリー残量が表示されます。あくまで目安ですので、電池残量が少なくなってきたら早めに充電してください。
※各モデルやOSバージョンによって、表示されない場合もあります。ご了承ください。

使用方法 ※携帯電話機の操作方法などは各キャリア様にお尋ねください。

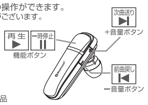
【ワンセグ/音楽を聴く】

A2DPプロファイル対応の携帯電話機があれば、本製品で音楽/ワンセグ音声を聴くことができます。携帯電話機のBluetooth設定をオーディオに設定して下さい。

【音楽リモコン】

本製品で音楽の再生･一時停止･前曲戻し･次曲送りの操作ができます。
※一部の音楽アプリ、携帯電話機では操作できない場合がございます。

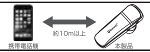
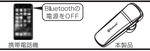
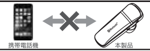
再生 ▶	機能ボタン 1回押し	一時停止 ⏸	機能ボタン 1回押し
次曲送り ⏭	+音量ボタン 1回長押し	前曲戻し ⏮	ー音量ボタン 1回長押し



※2台の携帯電話機を使用している場合は、接続時に本製品を先に認識した携帯電話機1台のみの対応となります。

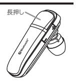
【自動電源OFF機能/節電モード】

以下の条件を満たすと本製品の自動電源OFF機能が働き、本製品の電源がOFFになります。

本製品と携帯電話機の通信距離が約10m以上離れる、又は通信が途切れた場合	 携帯電話機 約10m以上 本製品	約3分後に、本製品の電源がOFFになります。
携帯電話機のBluetooth電源をOFFにした場合	 Bluetoothの電源をOFF 携帯電話機 本製品	約3分後に、本製品の電源がOFFになります。
本製品と携帯電話機をペアリング設定(接続)していない場合		約3分後に、本製品の電源がOFFになります。

※使用環境、携帯電話機の機種によっては、自動電源OFFになる時間が異なる場合がございます。
※一部の携帯電話機では、待ち受け中に自動電源OFF機能が働く場合がございます。

【Siri(シリ)を使用する】※iPhone対応



iPhoneのSiriを使用することができます。
本製品の機能ボタンを電子音が鳴るまで約3秒程長押しするとSiriのメッセージがiPhoneの液晶画面に表示されます。Siriを終了する場合も機能ボタンを電子音が鳴るまで約3秒程長押ししてください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	処置
電源が ON にならない。	電源ONの動作をおこなってもLEDが点灯しない場合は、バッテリーの残量が不足している。	付属の DC 充電器と USB ケーブルを使用し充電してください。
	青いLEDが点滅している。	青いLEDが点滅している状態は電源がONの状態であり、正常動作です。
ペアリングができない。	ペアリングモードになっていない。	電源 OFF の状態から電源ボタンを 5~8 秒押してペアリングモードにしてください。
	長時間、赤と青のLEDが交互に点滅している。	正常にペアリングをおこなう状態になっていない可能性がありますので、一度設定を中止し電源を OFF にしてから改めてペアリングをしてください。
通話音量が小さい。	音量レベルが小さくなっている。	ボリュームを上げてください。
通話ができない。	ペアリングが完了されない。	ペアリングをしてください。
	携帯電話機の設定がイヤホン設定になっていない。	携帯電話機の設定を変更してください。
	着信時の操作が早い。	イヤホンから着信音がしてから電源ボタンを押してください。
	携帯電話機で発信してからイヤホンの切替えをしていない。	携帯電話機で発信後、イヤホンの切替えをしてください。
	携帯電話機から 10m 以上離れ、ペアリングが解除になっている。	携帯電話機から 10m 以内の範囲に入り携帯電話機で本製品との接続操作をしてください。
携帯電話機から着信音が鳴らない。	接続時に着信が出ない設定になる携帯電話機があります。	携帯電話機の取扱説明書を参考に設定を変更してください。
途中で通話が切れる。	鉄筋の入った壁、電子レンジなどの電気製品、放送局や無線局などが近くにある。	場所を移動して使用してください。
ノイズ音や音切れがする。	無線 LAN、街中の電波干渉、携帯電話機を入れるポケットとは反対側の耳にヘッドセットを装着している時に発生する場合があります。	無線 LAN や Wi-Fi 接続のパソコンから離れていただくか、お体から携帯電話機を離してください。
携帯電話との接続が不安定になっている。	携帯電話機の Wi-Fi の設定を ON にしている時に発生する場合があります。	携帯電話機の Wi-Fi の設定を OFF にしてください。
待ち受け中に電子音が鳴る。	バッテリーの残量が不足している。	付属の DC 充電器と USB ケーブルを使用し充電してください。

以上の処置をしても具合が悪い場合は事故防止の為、使用を中止しお買上げの販売店、または当社までご相談ください。